

3.2.6〔題目〕 K. P. 廃水の性状

黒川達爾雄
養輪 迪夫

はしがき

近年工場廃水の性状について、ばつばつ公表されたデータが入手出来るようになっては来たものの、まだまだ例が少く、折にふれいろいろと不自由を感じる事が多

い。その正常さ、異常さにかかわらず、各方面からのもちよりのデータの蓄積が望まれる。

次に挙げるデータは、ほんの2例にすぎないが、この意図から紹介するものである。

工場	装置		水温 °C	色度	臭 気	P H	浮游物 PPm	D.O. PPm	B.O.D. PPm	C.O.D. PPm	Cl ⁻ PPm
A 工場	サイ クレ ーク ト ー	処理 前	21.0	435	微 臭 (アルカリ性)	9.8	192	2.9	89	192	173.9※
		処理 後	19.5	110	微 臭 (アルカリ性)	9.6	98	0.2	50	107	140.0※
B 工場	ク ラ フ ア イ ヤ ー	処理 前	27.3	830	—	7.61	540.0	—	89.6	135.8	—
		処理 後	26.4	724	—	7.58	117.0	—	67.5	116.8	—
A 工場	洗 滌 池	処理 前	14.8	63.0	軽 い メルカプタン 臭	7.8	124	7.1	—	47.5	122※
		処理 後	13.8	47.5	〃	7.6	79	9.0	8.9	27.5	119※
B 工場	処 理 総 合 排 水		25.3	660	—	7.18	46.0	—	52.6	158.6	—

※ Cl⁻が多いのは原料用水中に遡上した海水が混入するためである。

3. 3 雑 録

3.3.1 技術指導及び諸調査

(イ) 出水地区で発生した海苔被害の調査

1月下旬、出水地区で発生した海苔被害問題について、その原因が工場排水（主として水給関係）と関連があるか否かを明らかにし、その対策を樹てるのが目的であつたが、被害状況、関係水域の水質、廃水の稀釈率等を勘察して、これらの間には直接の因果関係はないものと推定した。

(ロ) 志布志地区某工場の澱粉廃水調査

澱粉廃水処理手段としての洗滌槽の価値判断を、志布志地区某工場の実装置について調べた。当初予想したように洗滌槽処理は多少の効果はあるが、適当なものではない事を知つた。

(ハ) 国鉄枕崎線建設工事に伴つて発生した農作物被害の調査

農作物に対する被害発生の原因は、被害発生地区附近

の路盤工事に使用されたトンネル掘さく捨土中に、もともと含まれていた硫酸分及び捨土中の硫化鉄から引続き生成された硫酸分に由来するものと推定した。

(ニ) 中越パルプKK川内工場の廃水と煙害の問題
前年度同様問題がくり返し発生し、くり返し論議されている。未解決。

(ホ) 大隅、北薩、谷山、地区地下水の調査

企画調査室に協力し、工場適地調査の一環として大隅地区約30ヶ所、北薩地区約10ヶ所、谷山地区約20ヶ所の地下水について水質を調べ、各地区の地下水の特質等を明らかにした。

(ヘ) 屋久島本富鉱周辺のタングステンの分布調査
鉄重石、灰重石が主であるが、品位はあまり高くない。

(ロ) 県内窯業原料の調査

近時本県内の窯業原料が各方面から注目されだした。そこで既往の資料に加えて、補足調査を行い、整つたものとして開発に資するよう実施中であるが、新しいもの